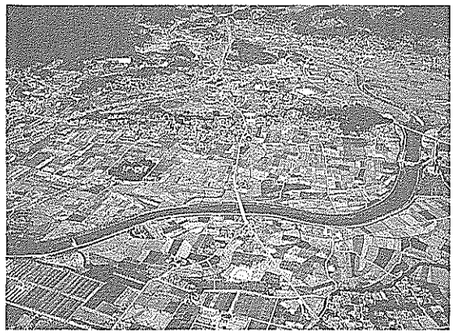
平成2年度施政方針

特色ある機能創出のために

まほろばの里づくりなどに取り組む

国は国土の均衡ある発展を目指して多極分散型国土の形成を推進しています。県は県内の振興拠点地域を整備する構想を持っていますが、本市の交通、産業、文化、学術研究などについて特色ある機能を創出し、それに合致する活力ある行政の基盤づくりを図るために、市は次のとおり平成二年度の施政方針を発表しました。



◪財政

多様化する行政需要に応え、住民福祉の向上を図り、計画事業を達成するため、引き続き行政改革大綱を基本とした行財政の簡素効率化と経費の節減合理化を推進、行政分担の再点検及び各種施策の優先順位の選択を行い、財政の健全化を目指して節度ある財政運営を図ります。またそれとともに、新たな財源の確保に格段の努力をはらい、国の地方財政対策にもられた「地域づくり推進事業」を生かした、本市の自主的、主体的な施策に取り組んで、限られた財源の有効な活用を図ります。

◪都市対策

中心市街地における住環境整備と商店街活性化の基本構想が、本年四月に完成することになっています。これに基づき、整備地区の決定と住民による組織づくりを推進、国、県の財政的、技術的支援と指導も受けながら、効率的整備の方策を住民とともに考え、平成五年度の事業化に向けて努力していきたい。

下水道整備については、浦戸湾東部流域下水道が本年四月から高知市高須地区で供用開始の予定で、既に県と関係市町では、財団法人高知県下水道公社を設立し、施設の維持管理を委託しています。さらに高須浄化センター内の施設を充実、土佐山田町へ延びる幹線管渠を国道一九五号線下に高知農業高校東まで敷設する予定です。四年四月の供用開始に向けて、本年度は城陸、能間、篠原北、野中の各地区の一部について、幹線並びに枝線の敷設を計画しています。

着々と工事が進む浦戸湾東部流域下水道

◪同和対策

小集落地区改良事業について、二年度は、野中地区、西部地区で、不良住宅の買収除却、改良住宅、緑地公園の建設などを予定しています。これらの事業を達成すれば、全体の事業実施総額二百四十六億一千百八十二万四千円となって、進捗率約九八％に達し、法期限内にすべての事業を完了させることができるものと考えています。ただ、小集事業の線引きの最終見直しが若干予定されているので、さらに心を引き締め、事業の推進にあたらなければなりません。

◪廃棄物処理

一般廃棄物埋立処分場、し尿処理場については、今秋整備計画書を厚生省へ提出することができるように、南国市の廃棄物処理の実態に即した長期基本計画を策定、全力を尽くして前進させたい。

◪農林業

本市農業の主力である園芸農業の振興を図りながら、本市農業全体を押し上げるという構想のもとに、地域特性をも踏まえ、高品質、低コスト生産を可能とする各種の条件整備を行って、生鮮食糧供給基地としての機能の充実、強化を考えています。

また、農用地利用増進による農地の貸し手、借り手の掘り起こしに積極的に取り組み、中核農家による農地の有効利用を図っていきたい。

水田農業の確立については、水田農業確立後期への円滑な移行を図るため、水田農業の生産構造の転換と転作目標面積を達成したいと考えています。米の販路拡大運動には、元年度に引き続き、積極的に取り組みます。

農業の生産性の向上と農業構造の改善を推進するとともに、需要動向に即応した農業生産の再編成を促進するために、農業基盤整備の計画的な推進、とりわけ三和南部地区圃場整備事業の早期実現と、各地区で実施している土地改良事業の早期完成に積極的に取り組みます。

農協合併については、南国市地区農協合併研究協議会のなかで調整を図りながら推進します。

また、森林の持つ水源涵養、山林資源の確保などの公益機能の充実や、林業経営の安定のため、新林業構造改善事業を実施し、近代化、協業化を推進、経営基盤の整備、生産基盤の整備などを行い、林業の振興を図っていきます。

◪商業

住環境モデル事業を核に、利便性、快適性を具備した魅力ある後免町商店街の再構築を急ぎ、商店関係者自らの責任と連帯を促し、健全な経営基盤の確立のため、関係団体と一体となって、中心商店街の近代化推進に努めていきます。

◪保健

健康は明るい社会生活を営む基盤であるとの考えのもとに、国の示す老人保健法による基本方針に基づき、本年度も健康づくりの事業を実施します。

また、乳児検診や機能回復訓練、各種検診事業の拠点となる保健センターの建設については、計画予定地の地権者である土佐長岡郡医師会の協力が得られることとなり、必要な調査費を予算計上して平成三年度の実現を目指して調査、研究を行いたい。

◪税務

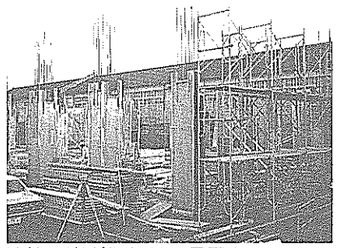
固定資産税の課税対象のうち、宅地については基準地、標準地を設定し、これを基準に評価を実施し、現在にいたっていますが、地域的にも全域的に見ても、評価に適正を欠く側面が見受けられます。そこで、昨年実施した基準地、標準地の土地鑑定評価をもとに、三年度の改定に向けて、評価の適正化のための事務処理にあたりたい。

賦課した税が納入されてこそ、税の公平が保たれるので、市税の収納については、現在行っている書類催告、電話催告、臨戸訪問徴収等を検討、ケースによっては強制執行を実施し、市税の収納率向上に努めます。

◪福祉

老人問題については、今年完成する特別養護老人ホーム「白銀荘」、デイサービスセンター、在宅介護支援センターなどによって、寝たきり老人福祉の向上が図られると考えています。

また、障害者の生き甲斐と、自立促進を図るための共同作業所建設については、建設費及び運営補助金を計上しました。



改築工事が行われる長岡小

◪教育

心身ともに健康で、創意と自主性に富み、人間性豊かな調和のとれた市民の育成を、本市教育の基本目標に掲げ、関係機関との連携を密にして、教育環境の整備充実に努め、生涯教育の観点に立った幼児教育、学校教育、社会教育の総合的な充実を目指します。

学校教育施設の整備、充実のため、本年度は岡豊小学校増改築事業、継続事業の長岡小学校改築事業の二年次分及び給食施設整備事業、並びに奈路小学校屋内運動場新設事業の実施を計画しています。

また、PTAが地域の核となって、家庭、学校、地域社会の連帯を深め、校区から非行の芽を出さない「心の教育推進スクラム事業」や郷土を愛し、自然を愛する豊かな情操を育成する「郷土を愛する心育成推進事業」等の補助事業を導入して、児童、生徒の心身の健全な育成に積極的に取り組みます。

平成2年度の主な新規事業

施政方針にうたわれた本市の特色を創出するため、人材育成や国際交流事業などが本年度実施されます。その主な事業を紹介します。

○人材育成事業

近い将来地域おこしの中心として活躍が期待される青年にその資質を伸ばしてもらおうと昨年発足した青年市民会議が、姉妹都市の宮城県石沼市を訪問し、研修を行います。

○国際交流事業

昨年「市民の翼」で、韓国の安山市を訪問し、両市の中学生がサッカーの交歓試合を行いましたが、今年は安山市からサッカーチームが訪れます。

○まほろばの里整備事業

国府、岡豊、長岡一帯は、県下的にも一級の歴史、観光資源があり、立地条件にも恵まれています。この地域を「まほろばの里」として整備し、経済の発展を図ります。

○父子手当

母子家庭については法律に基づいて諸施策が講じられていますが、父子家庭についてはそのような施策が全くありません。そこで、父子家庭の児童の健やかな成長を願って、県下九市で初めて母子家庭と同様に手当を支給します。